

解説：

患者の顔写真は第 112 回医師国家試験問題 A より拝借した。原因は外傷や海綿状静脈洞部の内頸動脈の動脈瘤が破裂した場合や原因不明の場合がある。症状は海綿状静脈洞から上眼静脈への血流が増加するために、拍動性の眼球突出と眼瞼結膜の充血、視力低下、眼球突出による複視、血流増加による拍動に合わせた耳鳴り、海綿状静脈洞内を走行する外転神経と動眼神経障害による眼球運動障が出現する。病状が進行すると静脈洞内の圧が高くなり、頭蓋内圧亢進による頭痛、静脈性梗塞、静脈性出血、痙攣、意識障害を起こしうる。

血管雑音、拍動性眼球突出、眼球結膜の浮腫・充血の 3 つを三徴とする。治療は保存療法として頸動脈圧迫を行う。これで改善が見られない場合には、経動脈的塞栓術と経静脈的塞栓術がある。a 特発性結膜下出血は結膜の血管が破れることで鏡を見て気づく人が多い。突然発症するが、自覚症状はなく、1~2 週間で自然に吸収されるので、治療の必要はない。b が正解。c スタージ・ウエーバー症候群は顔面のポートワイン母斑、軟膜血管腫、および神経合併症（けいれん発作、局所神経脱落症状、知的障害）を特徴とする先天性血管障害で、9q21 染色体上の *GNAQ* 遺伝子に異常がある。d 海綿静脈洞血栓症は通常、顔と眼窩（鼻の皮膚を含む）、眼窩、または副鼻腔の感染症で起こる。症状は頭痛、顔面の痛み、視覚障害、突然現れる眼球の突出、高熱などがある。e トローサ・ハント症候群は一側の激しい眼窩痛と眼筋麻痺を特徴とする。原因は、海綿静脈洞、眼窩尖端部に生じた炎症性肉芽腫性病変で、造影 MRI で同病変が造影される。ステロイド治療が奏功する。

正解 b

---